



# NTTジャパンカップランキングイベント／ 第15回日本トライアスロン選手権東京港大会レース速報 女子は井出、男子は田山が優勝

## 井出、田山ともにジャパンカップとのダブルタイトルも達成

10月18日(日)、東京都港区台場の特設会場で、NTTジャパンカップランキングイベント／第15回日本トライアスロン選手権東京港大会が開催された。

本大会は、日本選手権とNTTランキングイベントのシーズンチャンピオンの2大タイトルがかかっている

午前8時25分スタートの女子は、中島千恵(トーションパートナーズ・チームケンズ)が20分25秒でトップフィニッシュ。わずか20秒の間に佐藤優香(日本橋女学館高校)、高木美里(レオパレス21)、土橋茜子(トーションパートナーズ・チームケンズ)ら17人が入り、バイクに移った。

バイクに入ると、中島ら6名の第1集団が飛び出す。その後ろを、上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、菊池日出子(チームプレイブ)、井出樹里(トーションパートナーズ・チームケンズ)、庭田清美(アシックス・ザバス)らを含む10名の第2集団が追いかける。その後第2集団が追いつき、最終的に15名で第1集団が形成された。上田が1時間25秒でバイクフィニッシュした。

ランでは上田、庭田、崎本、足立真梨子(トーション



砂浜を走り込んで始まるスイム



井出がランでの追い上げを見せた

### 井出 樹里

トーションパートナーズ・チームケンズ



スイムの出遅れは、よく分析して修正したい。練習してきた割にはバイクも脚を使いすぎた感じ。そのせいかランで出遅れた。後半は良くなると信じて走った。追いついてからは、負ける気がしなかった。

### 田山 寛豪

NTT東日本・NTT西日本／流通経済大学職員



タフなレースできつかった。スイム1周目で遅れ、スイムフィニッシュでは挽回したが、バイクでは山本選手と二人で先行できてずいぶん助けられた。ランでは最初からとばしたが、身体が軽く、いい走りができた。

JTU Official Partners & Official Suppliers



ンパートナーズ・チームケンズ)の4人が飛び出す  
が、2周回目の初めに井出が追いついた。その後  
崎本が遅れ、4名の競り合いは続いた。最後のビク  
トリーロード手前で井出が抜けだし、2時間31秒の  
タイムでフィニッシュ。日本選手権2連覇、2度目の  
優勝を果たした。2位に足立、3位に上田が入った。

午前11時スタートの男子は、スイムを得意とする  
平野司(大阪府協会)が18分36秒でトップフィニッ  
シュ。田山寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通  
経済大学職員)、山本良介(トヨタ車体)、細田雄一  
(グリーンタワー・稲毛インター)らが後を追った。

バイクでは、平野、田山、山本、細田が第1集団  
を形成。6周回目で細田と平野が遅れ、後続の山  
本淳一(稲毛インター)、福井英郎(トヨタ車体)らの  
第2集団に吸収された。トランジションでは、田山と  
山本が同時に先頭でランに移った。

ランでは、田山と山本は選考するが、2周回目には  
いるところで田山が前に出ると、山本が遅れ初  
め、その後距離は開いていった。そのまま田山が  
独走し、1時間51分3秒でフィニッシュ。日本選手権  
4連覇、6度目の優勝を果たした。2位は山本、3位  
は細田だった。

また、NTTジャパンカップランキングのチャンピオン  
は、井出、田山となり、ともに日本選手権とのダ  
ブルタイトルを獲得した。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧にな  
れます。



バイクで強さを見せる山本



田山と山本の一騎打ちになったが、田山が振り切った

#### 足立 真梨子

トーンパートナーズ・チームケンズ



WCSのロンドン、横浜にかけ  
ていたが両レースとも落車で  
良いレースではなかった。この  
ままでは終われないと思い、  
チームのサポートもあって今年  
の最終戦にいい結果が残せた  
ことが嬉しい。

#### 山本 良介

トヨタ車体



かなりしやすい。やはり1位以  
外は敗者であることがよく分  
かった。スイムもバイクもうまく  
いったが、バイクで4名になっ  
たのは良くなかったかもしれな  
い。ランが走れなかったのは  
努力不足。

JTU Official Partners & Official Suppliers

